

令和五年度

京都女子大学大学院 文学研究科

博士後期課程 史学専攻 入学試験 (春季)

専門科目試験問題 (日本史)

(Ⅰ) (Ⅱ) すべてに解答しなさい。

解答用紙のみ提出すること。

I 近世と近代の境目はいつと考えるか。なぜそう考えるか、政治・経済・文化などの諸方面から論じなさい。

解答は、別紙の解答用紙に記述すること。

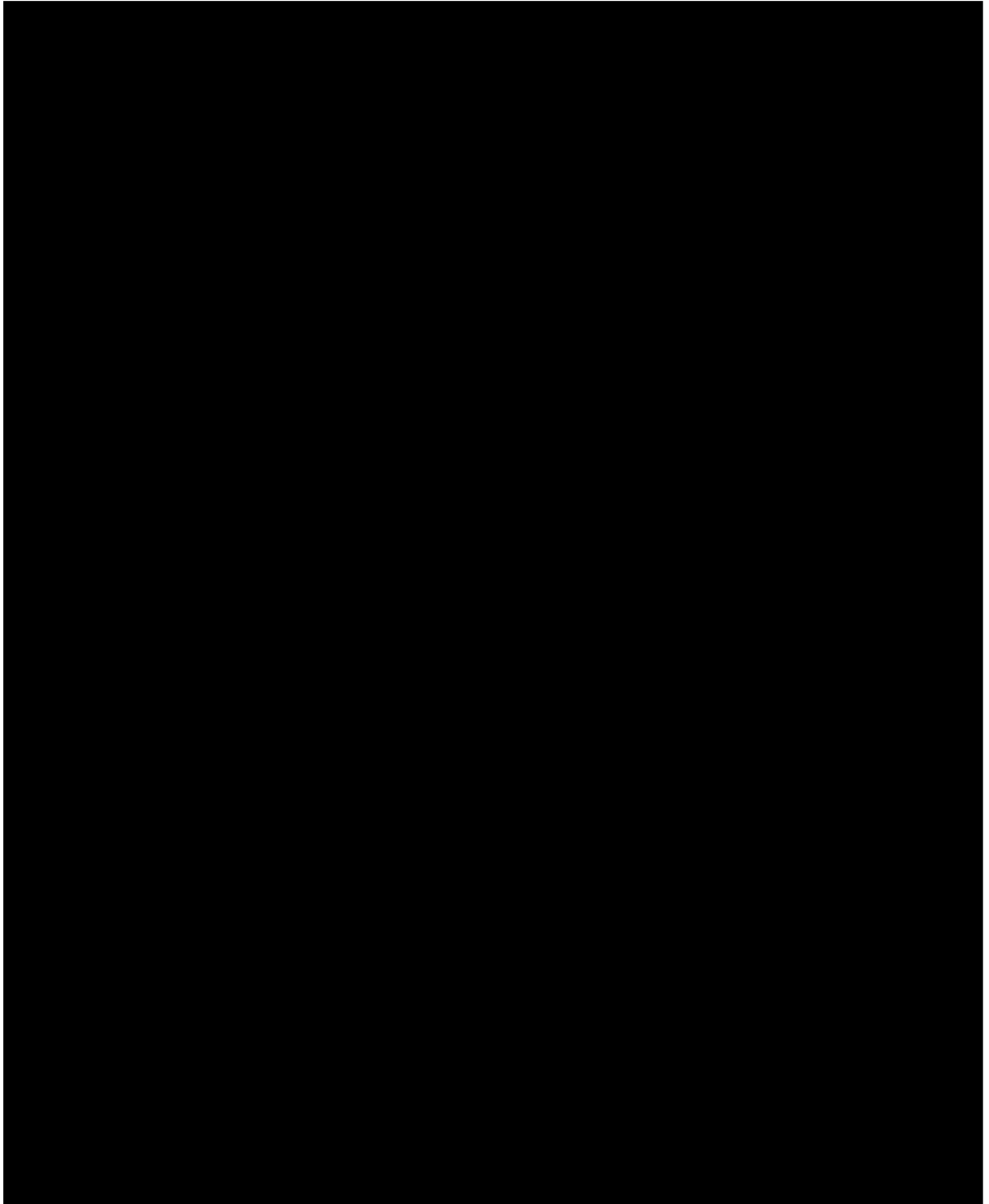
解答用紙の表面のみに記述すること。（解答用紙の裏面は使用不可）

【I 解答用紙】

受験番号 ..

氏名
..

Ⅱ つぎの史料は高須墨浦『函館繁昌記 後編』（夢香楼、1884年、原文は全篇漢文体）の一節です。これを読み設問に答えなさい。



（出典『日本近代思想体系23 風俗 性』、岩波書店、1990年、201～209ページ）

解答用紙

設問1 下線(1)の都市名の読みをカタカナで記しなさい。

竜動()、巴里()、伯林()、維納()

設問2 下線(2)の「巴港」とはどここの港町を指していますか。その地名を記しなさい。

また「私窩子」の読みをカタカナで書き、その意味を記しなさい。

巴港 () 私窩子(読み: 意味:)

設問3 下線(3)のように「巴港」が「英船着港」の貿易港となったのは、1858(安政5)年に
日本と英国との間である条約が結ばれたことに始まります。その条約を何といいますか。

()

設問4 下線(4)を現代語訳しなさい。

設問5 下線(5)を現代語訳しなさい。

設問6 下線(6)はどのような状況を説明していますか。

設問7 下線(7)を現代語訳しなさい。

設問8 下線(8)を現代語訳しなさい。

設問9 下線(9)にいう「糸竹の類」とはどういう意味ですか。

()

受験番号		名前		
------	--	----	--	--